



今月は「高次脳機能障害」

高次脳機能障害とは

転落や交通事故による脳外傷、脳出血や脳梗塞のほか、脳炎などの病気で脳がダメージを受けることで生じる「認知面の障害」です。

「物を見て何かを判断する」「集中する」「言葉を話す」「記憶する」「計算する」「感情をコントロールする」「相手の気持ちを理解する」などといったことに問題が出てきます。

しかし、これらの症状は周りから気付かれにくく、また、本人も気付いていないこともあります。分かりにくい障害であり、本人の性格であると誤解されることも多いです。

こんなことに困っています

次のような症状が現れ、日常生活や社会生活に支障が生じることがあります。

- 約束を忘れ、同じ事を何度も聞く。
- 同時に複数のことができない。
- 同じミスを繰り返す。
- 一つの作業が続けられない。
- トラブル時の対応ができず混乱する。
- 些細なことで激怒する。

○行動を抑えられず我慢できない。  
※症状や障害の程度は人によってさまざまです。

こんな配慮をお願いします

- 大事なことはメモを取るよう促す。
- 一つずつ簡潔に伝える。
- 作業はこまめに休憩をとらせる。
- 目や耳に入ってくる情報を制限して集中できる環境を作る。
- 本人と話し合って一日のスケジュールを決める。
- 興奮している時は、無理やり鎮めず、席を外したり、話題を変えたりする。

この障害は、受けたダメージから回復したように見えるのに、本人は今ままでできていたことができなくなり、混乱や不安の中にいるということを理解しましょう。また、本人だけでなく家族も悩みを抱えています。周りの理解が何より大切です。

【広島県内の専門機関】  
広島県高次脳機能センター  
(東広島市西条町田口295・3)  
☎082・425・1455

安心・安全な毎日のために

庄原警察署  
☎0824・72・0110

道路を横断する際は注意を！

●道路横断中の死亡事故多発！

県内では、高齢者の方が道路横断中に車にはねられて死亡する交通事故が多く発生しています。一人一人が交通安全への意識を高め、交通ルールの遵守を心掛ければ、交通事故の減少につながります。

【歩行者の方へ】

- 道路を横断するときは、必ず一旦立ち止まり、左右の安全を確認しましょう。
- 道路へ急に飛び出さないようにしましょう。
- 通り慣れている道でも危険は潜んでいます。安全をしっかり確認する癖をつけましょう。
- 夜間、薄暮時は、明るい服装に反射材やLEDライトを活用しましょう。

【ドライバーの方へ】

- 横断歩道は、歩行者が絶対優先です。安全速度を厳守し、横断歩道付近に歩行者がいる場合は、すぐに停止できる



- 速度で進行しましょう。
- 夜間や雨などで視界が悪い時は、特に慎重な運転を心掛けましょう。
- 「だろろ運転」をせず、「かもしれない運転」を実践しましょう。
- 夕暮れ時は、早めのライト点灯で視界を確保するとともに、他の車両や歩行者に自分の存在を知らせましょう。

●庄原市内の交通事故発生状況 (平成27年9月末)

物損事故	負傷者	死者	人傷事故
529件	78人	1人	55件
(-26)	(-17)	(-1)	(-11)

( )は前年同期比